

スギ美林誘導PT定期調査

報告書

令和7年度

東北森林管理局計画保全部計画課

1. 調査概要

スギ美林誘導林分に指定後、林況の変化を確認するため以下の調査を行う。

- (1) プロット内の樹高と胸高直径等を測定
- (2) 林況を把握するための写真撮影
- (3) スギ美林誘導林分を巨木林タイプ、鬱蒼林タイプ、それ以外に分割するためのGPS測量
- (4) つる切の実施

2. 調査日及び調査地

- | | | | |
|-----|-------|---|------------------------------------|
| (1) | 調査日 | : | 令和7年6月24日 |
| | 管轄署 | : | 米代西部森林管理署 |
| | 箇 所 | : | 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班 |
| | 美林タイプ | : | 鬱蒼林タイプ |
| (2) | 調査日 | : | 令和7年6月25日 |
| | 管轄署 | : | 米代西部森林管理署 |
| | 箇 所 | : | 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班 |
| | 美林タイプ | : | 巨木林タイプ |
| (3) | 調査日 | : | 令和7年6月25日 |
| | 管轄署 | : | 米代西部森林管理署 |
| | 箇 所 | : | 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班 |
| | 美林タイプ | : | 鬱蒼林タイプ |

3. 調査内容

- | | | | |
|------|---------|---|---|
| (1) | 胸高直径 | : | 輪尺によりプロット内を毎木調査。
スギ超長伐期施業群の成長曲線と比較する。 |
| (2) | 樹高 | : | トゥルーパルス又はバーテックスによりプロット内を毎木調査。
スギ超長伐期施業群の成長曲線と比較する。 |
| (3) | スギ材積率 | : | 総材積に占めるスギの材積率を算出。
温故知新より、95%以上で純林とする。 |
| (4) | 下層植生等 | : | 下層植生を確認。
温故知新より、林内が暗く林床の植生が貧弱であるか、耐陰性の下層植生か確認する。 |
| (5) | ha当たり材積 | : | おみとおし及び標準地調査による調査。 |
| (6) | ha当たり本数 | : | 標準地調査による調査。
スギ超長伐期施業群の成長曲線より高ければ、林内が密であり、鬱蒼林適正があるとする。
スギ超長伐期施業群の成長曲線より低ければ、林内が疎であり、巨木林適正があるとする。 |
| (7) | 樹冠疎密度 | : | 林地に占める樹冠の面積をドローン写真から調査。
樹冠疎密度が高いほど、今後も成長が見込まれるとする。 |
| (8) | 樹冠形状 | : | 梢端の角度をドローン写真から調査。
梢端が尖っている（90度以下）だと、今後も成長が見込まれる可能性があるものとする。 |
| (9) | 樹冠長率 | : | 立木の全長が占める葉の長さをドローン写真から調査。
樹冠長率が高いほど、今後も成長が見込まれる。 |
| (10) | アクセス良否 | : | 当該箇所へ到達するまでの距離と時間を計測。
特に、車を駐車してから見学するまで、徒歩で10分以内かを計測。 |

4. 調査結果

- (1) 個々の誘導林分候補地の調査結果：別紙1のとおり。
署担当者立ち合いの上、小班分割のためのGPS測量を実施した。
小班内でつる切を実施した。
- (2) 成長曲線の比較：別紙2のとおり。
- (3) 美林誘導林分候補地の調査結果一覧：別紙3のとおり。

5. 考察

- (1) 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班(鬱蒼林タイプ)
スギ純林が形成され、今後も伸長成長が見込まれ、間伐しなければ肥大成長は抑制されることから、
スギ美林鬱蒼林タイプ誘導林分として引き続き経過観察する。
なお、スギ材積率が95%を上回ることから、誘導施業は不要である。
また、令和9年度森林計画編成時に小班分割を行い、「83は1」林小班として扱うこととする。
- (2) 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班(巨木林タイプ)
スギ純林が形成され、今後も伸長成長及び肥大成長が見込まれることから、
スギ美林鬱蒼林タイプ誘導林分として引き続き経過観察する。
なお、スギ材積率が95%を上回ることから、誘導施業は不要である。
また、令和9年度森林計画編成時に小班分割を行い、「17い3」林小班として扱うこととする。
- (3) 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班(鬱蒼林タイプ)
スギ純林が形成され、今後も伸長成長が見込まれ、間伐しなければ肥大成長は抑制されることから、
スギ美林鬱蒼林タイプ誘導林分として経過観察を行う。
なお、スギ材積率が95%を上回ることから、誘導施業は不要である。
また、令和9年度森林計画編成時に小班分割を行い、「17い4」林小班として扱うこととする。

5. 今後の予定

- (1) 別紙4のとおり、スギの成長量及び美林条件に係わる要素について定期調査とつる切を継続する。
- (2) 定期調査の結果、スギの材積率が95%を下回る場合は、スギ以外の樹種の間伐を実施する。
- (3) 定期調査の結果、スギの腐朽や枯損により美林誘導を継続することが困難と判断する場合は、
美林誘導を中止し、主伐を検討する。
- (4) 令和43年度時点で誘導林分の一部がスギ超長伐期施業群の伐期齢である150年生に到達する。
本年度で定期調査の結果を分析し、美林プロジェクトを継続するか、
スギ超長伐期施業群の伐期齢に従い皆伐するか判断する。
- (5) 美林プロジェクトを継続する場合は、調査方法や調査周期の評価を実施し、
評価を反映した調査方法で定期調査を継続する。
また、観光が可能となるよう、看板や散策用道路の整備を地元自治体と検討する。
- (6) 令和143年度時点で誘導林分の一部が250年生に到達する。
本年度で定期調査の結果を分析し、美林プロジェクトを継続するか、皆伐するか判断する。
今後、高齢級材としてよりも、観光資源としての価値が高いと判断する場合は、
歩道の整理や看板の設置等を計画し、一般の方が見学できるようにする。
- (7) 令和193年度時点で、誘導林分の一部が300年生に到達する。

【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月24日

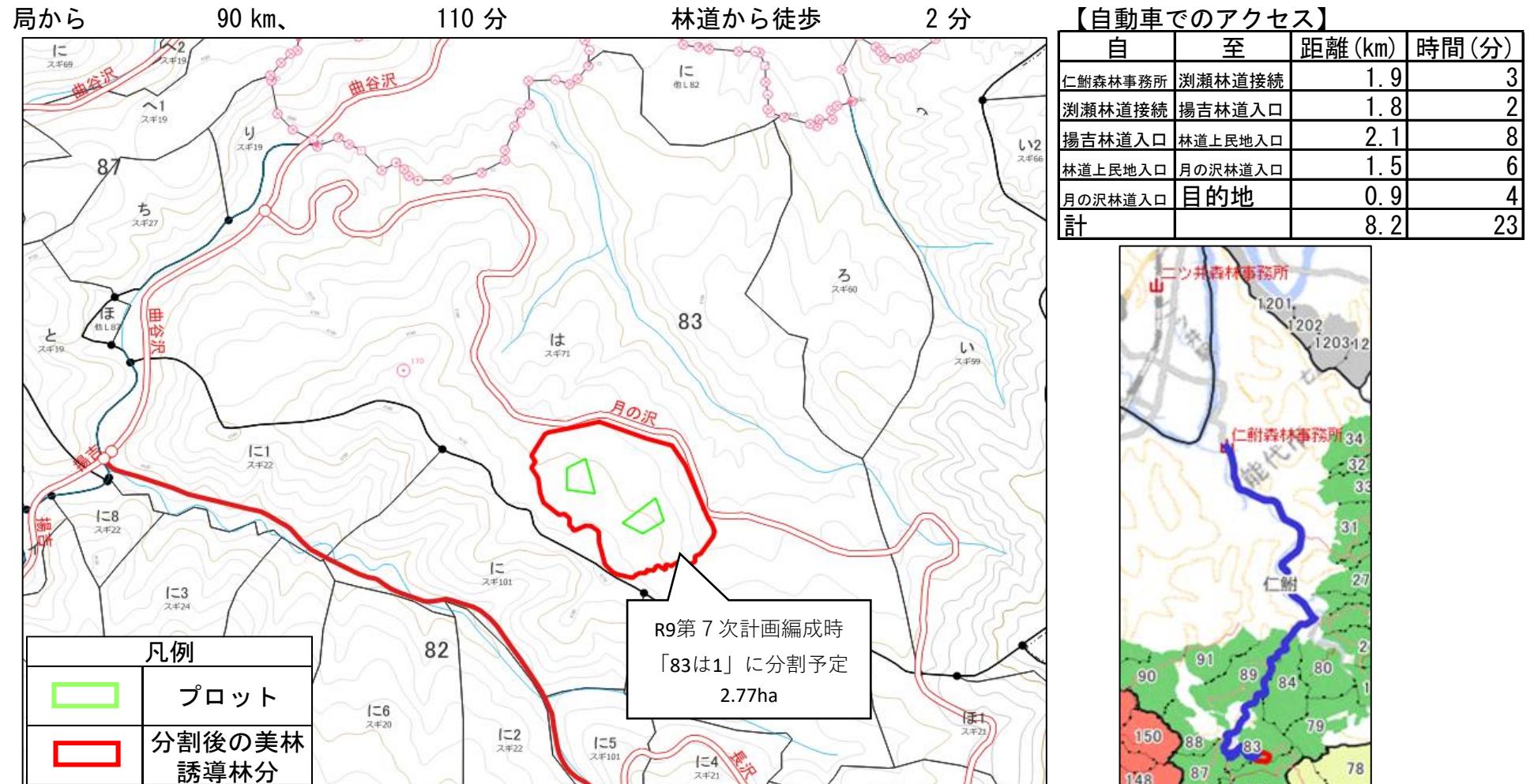
タイプ： 鬱蒼林

管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班

調査者： 米代西部署 森田、平泉、阿部、(他現場作業員2名)、計画課 魚住、藤田、畠山、木下、岩田、末永、松井、西周

【場所】



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月24日

タイプ：鬱蒼林

近景



下層植生

ササ、シダ、灌木、バラ類



管轄署：米代西部森林管理署

箇 所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班

遠景（隣接する「82に」は皆伐地）



全天球

林内は暗い



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月24日

タイプ：鬱蒼林

【森林調査簿情報】

林齢：74年生(R7時点)

機能類型：水源

施業履歴：H29間伐

管轄署：米代西部森林管理署

箇所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班

法指定：普通共

施業群：スギ超

小班面積：33.29 ha

林地面積：29.24 ha

ha材積：472 m³/ha

スギ混交歩合：95 %

【調査内容】

調査結果	R6_プロット1	R7_プロット1	R7_プロット2	R7_平均	増減
プロット面積	0.092 ha	0.100 ha	0.110 ha	0.105 ha	0.013
プロット内樹種	スギ、他L	スギ	スギ	スギ	
プロット内本数	48 本	48 本	56 本	52 本	4
プロット内立木材積	62.53 m ³	78.65 m ³	90.02 m ³	84.34 m ³	21.81
傾斜	平	平	平	平	

ha当たり換算

内容	R6_プロット1	R7_プロット1	R7_プロット2	R7_平均	増減
材積歩合	スギ 100%	スギ 100%	スギ 100%	スギ 100%	0%
ha当たり本数	522 本/ha	480 本/ha	509 本/ha	495 本/ha	-27
ha当たり材積	680 m ³ /ha	787 m ³ /ha	818 m ³ /ha	802 m ³ /ha	123
平均胸高直徑	39 cm	40 cm	40 cm	40 cm	1
平均樹高 (m)	23 m	27 m	26 m	27 m	3
おみとおし①	889 m ³ /ha	756 m ³ /ha	1,222 m ³ /ha	965 m ³ /ha	76
おみとおし②	936 m ³ /ha	918 m ³ /ha	- m ³ /ha		

【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月24日

タイプ： 鬱蒼林

樹冠疊密度 中 (90%)



管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班

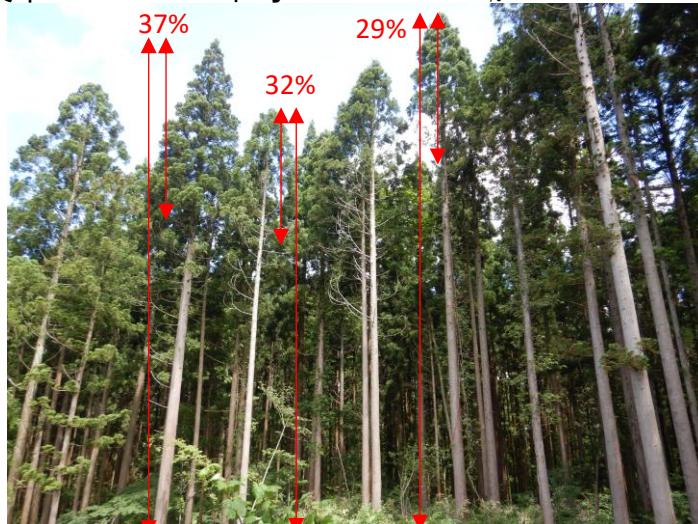
樹冠形状 41度 尖っているので成長が止まっている



樹冠長率

平均

33%



看板設置

20241114済



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月24日

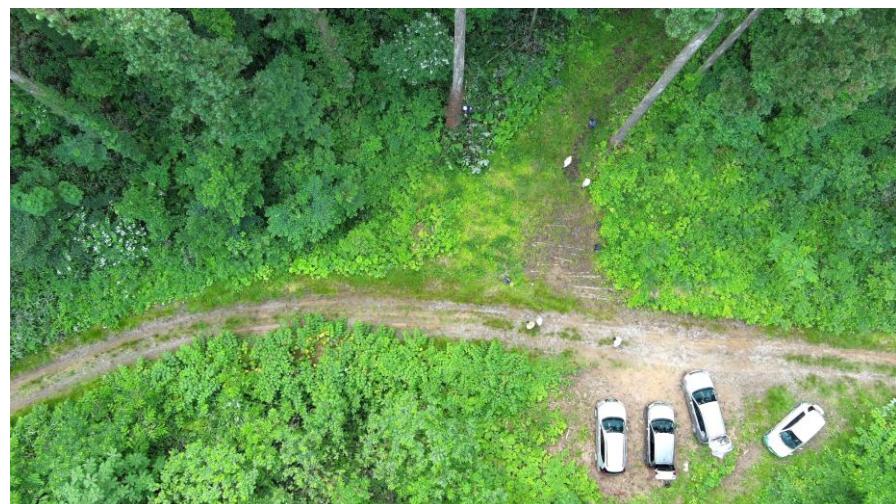
タイプ： 鬱蒼林

標準地箇所

四隅に杭（先端：赤、美林と記載）



小班前に森作、駐車スペースあり



管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林83は林小班

調査木にはナンバーテープ（橙A、白D）



つる切実施済



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

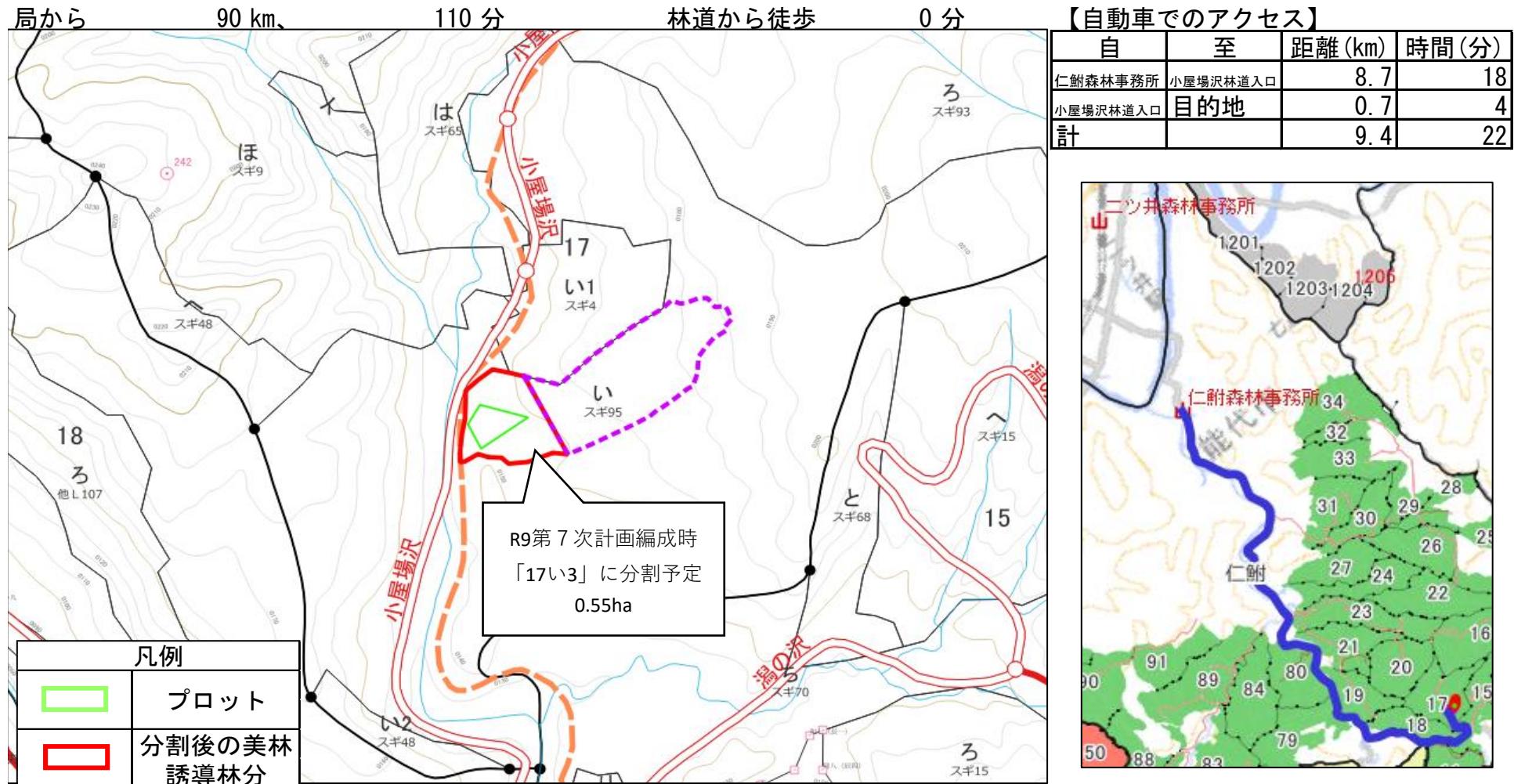
タイプ：巨木林

管轄署：米代西部森林管理署

箇所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

調査者：米代西部署 森田、平泉、阿部、古倉(他現場作業員2名)、計画課 藤田、畠山、木下、岩田、末永、松井、西周、渡部

【場所】



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月25日

タイプ： 巨木林

近景

管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

遠景 (隣接する「17い1」は皆伐地)



下層植生

灌木、ササ、シダ類



全天球

林内は暗い



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

タイプ：巨木林

【森林調査簿情報】

林齢：98年生(R7時点)

機能類型：水源

施業履歴：H15間伐

管轄署：米代西部森林管理署

箇所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

法指定：普通共

施業群：植栽複

小班面積：20 ha

林地面積：19.64 ha

ha材積：1,099 m³/ha

スギ混交歩合：100 %

【調査内容】

調査結果	R6_抽出調査	R7_プロット	増減
プロット面積	- ha	0.090 ha	-
プロット内樹種	スギ、他L	スギ、他L	
プロット内本数	- 本	22 本	-
プロット内立木材積	- m ³	72.43 m ³	-
傾斜	平	平	

ha当たり換算

内容	R6_抽出調査	R7_プロット	増減
材積歩合	スギ 100%	スギ 98%	-2%
ha当たり本数	- 本/ha	244 本/ha	-
ha当たり材積	- m ³ /ha	805 m ³ /ha	-
平均胸高直徑	66 cm	71 cm	5
平均樹高 (m)	32 m	33 m	1
おみとおし①	- m ³ /ha	853 m ³ /ha	-
おみとおし②	- m ³ /ha	853 m ³ /ha	

「-」は未調査

【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月25日

タイプ： 巨木林

樹冠疊密度 中(70%)

管轄署： 米代西部森林管理署

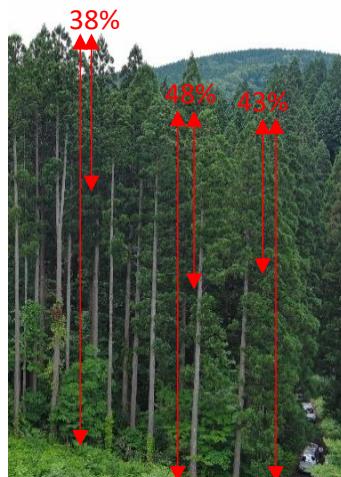
箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

樹冠形状 48度 尖っているので成長が止まっている



樹冠長率

平均 43%



看板設置

ガンタッカーで張り直し



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月25日

タイプ： 巨木林

管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

標準地箇所

四隅に杭（先端：赤、美林と記載）

調査木にはナンバーテープ（橙A）



小班前に森作、駐車スペースあり



No Image

つる切実施済



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

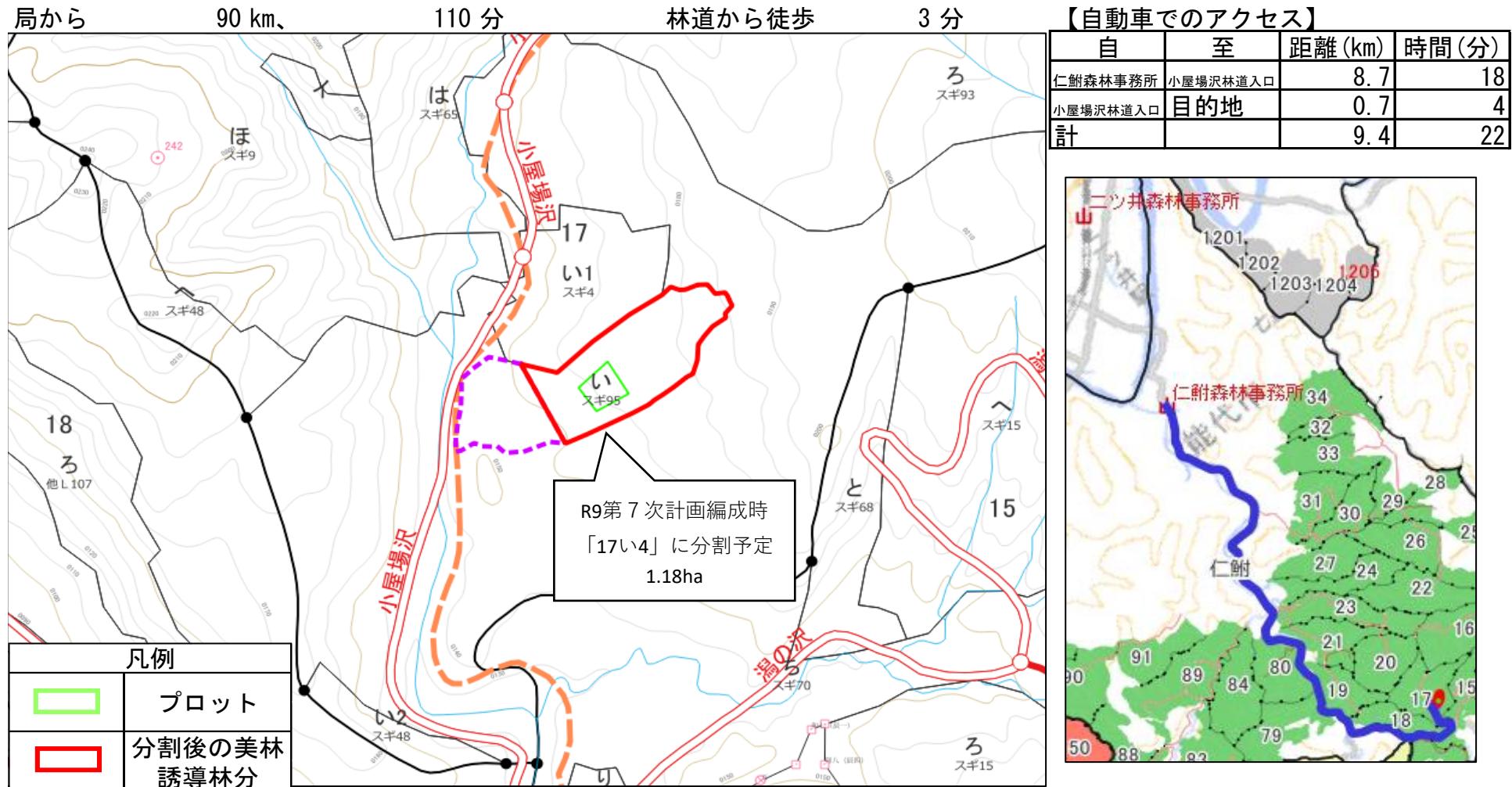
タイプ：鬱蒼林

管轄署：米代西部森林管理署

箇所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

調査者：米代西部署 森田、平泉、阿部、古倉(他現場作業員2名)、計画課 藤田、畠山、木下、岩田、末永、松井、西周、渡部

【場所】



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

タイプ：鬱蒼林

近景

管轄署：米代西部森林管理署

箇 所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

遠景（写真手前）



下層植生

灌木、ササ、シダ類



全天球

林内は暗い



<

⊕ ⊖ ⊙ ⊚ ⊛ ⊜

>

【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

タイプ：鬱蒼林

【森林調査簿情報】

林齢：98年生(R7時点)

機能類型：水源

施業履歴：H15間伐

管轄署：米代西部森林管理署

箇所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

法指定：普通共

施業群：植栽複

小班面積：20 ha

林地面積：19.64 ha

ha材積：1,099 m³/ha

スギ混交歩合：100 %

【調査内容】

調査結果	R6_抽出調査	R7_プロット	増減
プロット面積	- ha	0.090 ha	-
プロット内樹種	スギ、他L	スギ、他L	
プロット内本数	- 本	42 本	-
プロット内立木材積	- m ³	95.65 m ³	-
傾斜	平	平	

ha当たり換算

内容	R6_抽出調査	R7_プロット	増減
材積歩合	スギ 100%	スギ 98%	-2%
ha当たり本数	- 本/ha	467 本/ha	-
ha当たり材積	- m ³ /ha	1,063 m ³ /ha	-
平均胸高直徑	36 cm	52 cm	16
平均樹高 (m)	27 m	32 m	5
おみとおし①	900 m ³ /ha	885 m ³ /ha	-
おみとおし②	- m ³ /ha	822 m ³ /ha	

「-」は未調査

【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日：令和7年6月25日

タイプ：鬱蒼林

樹冠疊密度 中(80%)

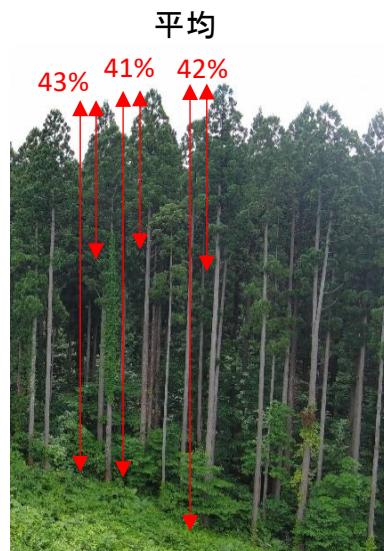
管轄署：米代西部森林管理署

箇 所：秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

樹冠形状 39度 尖っているので成長が止まっている



樹冠長率 平均 41%



看板設置 ガンタッカーで張り直し



【別紙1】美林誘導候補地調査

調査日： 令和7年6月25日

タイプ： 鬱蒼林

管轄署： 米代西部森林管理署

箇 所： 秋田県能代市ニツ井町仁鮎小掛山外3字仁鮎小掛山外9国有林17い林小班

標準地箇所

四隅に杭（先端：赤2、青2、美林と記載）

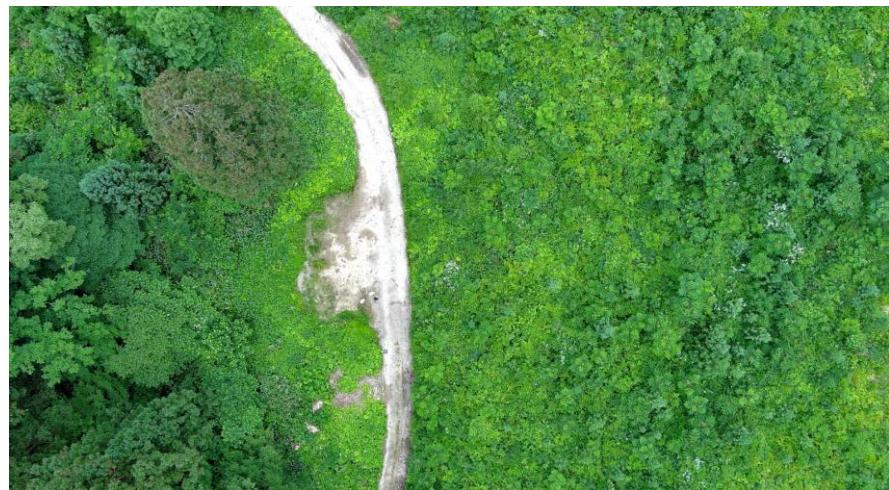
調査木にはナンバーテープ（白D）



小班前に森作、駐車スペースあり



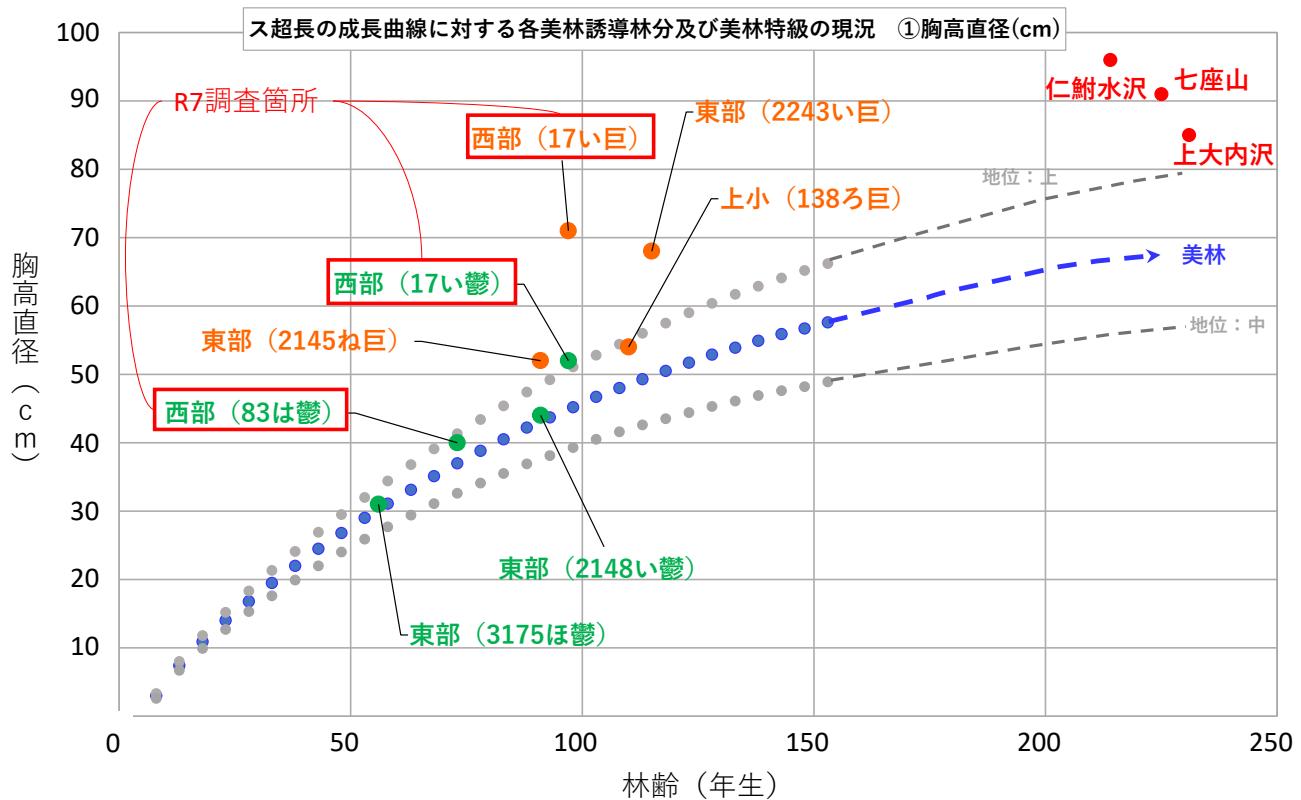
つる切実施済



【別紙2】美林成長曲線に対する各誘導候補地及び美林特級の現況

1. 胸高直径について

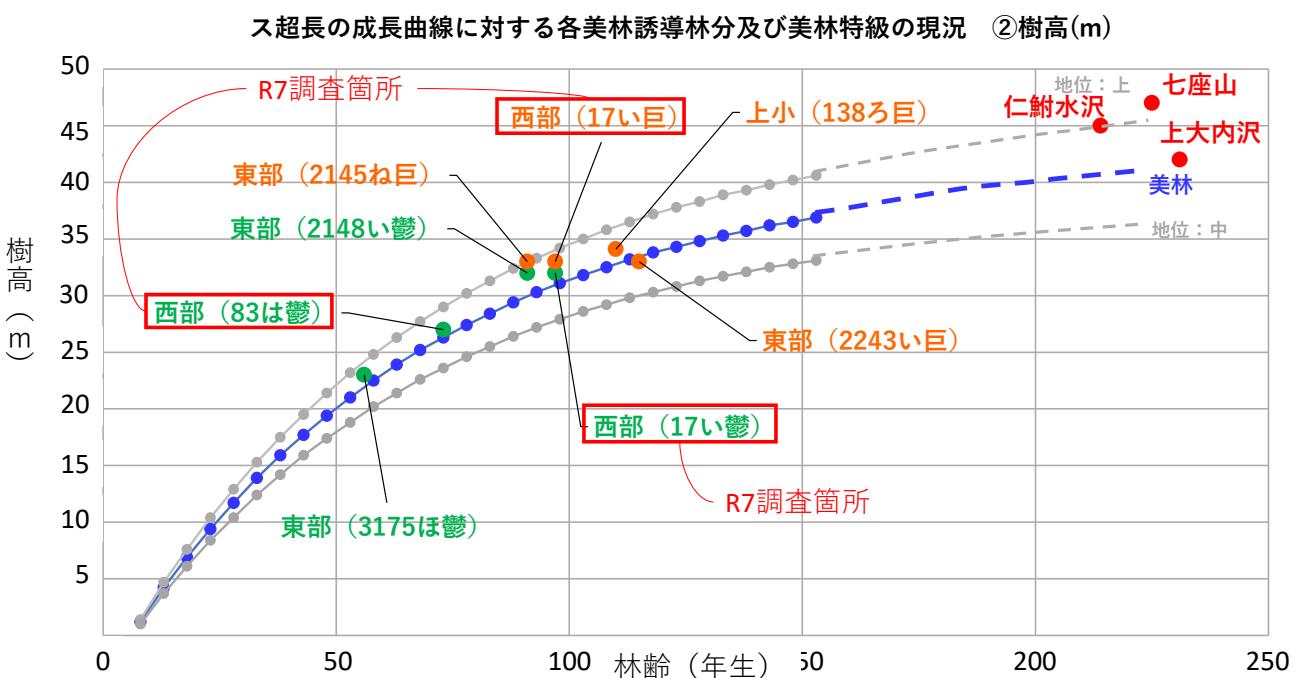
※地位：上はスギ超長施業群の地位上、地位：中はスギ超長施業群の地位中、その間を美林成長曲線としている。



署	林小班	タイプ	曲線に対する位置	評価
米西	17い	巨木林	地位：上より上位	予想表よりも肥大成長しており、今後の成長も見込まれる。
米西	17い	鬱蒼林	線上	予想表どおり肥大成長しているが、間伐をしないことで肥大成長を抑制できる。
米西	83は	鬱蒼林	線上	予想表どおり肥大成長しているが、間伐をしないことで肥大成長を抑制できる。

2. 樹高について

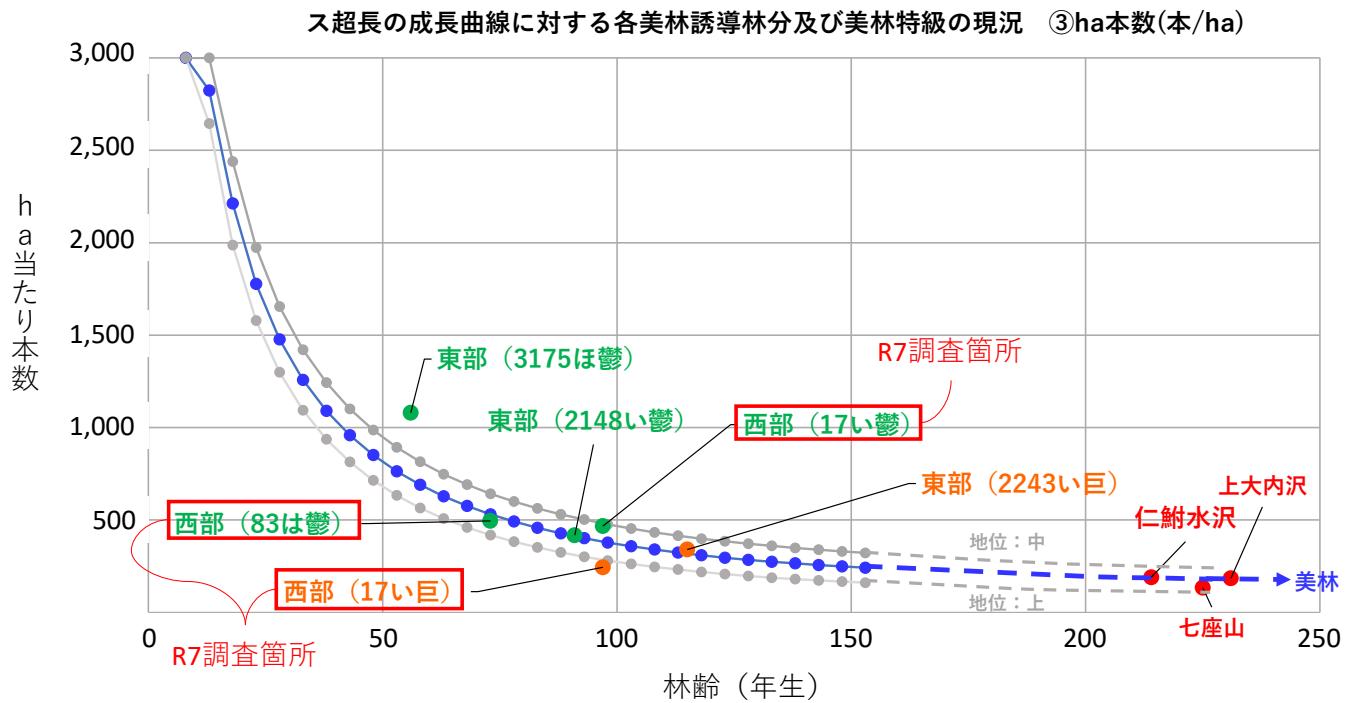
※地位：上はスギ超長施業群の地位上、地位：中はスギ超長施業群の地位中、その間を美林成長曲線としている。



署	林小班	タイプ	曲線に対する位置	評価
米西	17い	巨木林	地位：上	伸長成長しており、今後の成長も見込まれる。
米西	17い	鬱蒼林	線上	伸長成長しており、今後の成長も見込まれる。
米西	83は	鬱蒼林	線上	伸長成長しており、今後の成長も見込まれる。

3. haあたり本数について

※地位：上はスギ超長施業群の地位上、地位：中はスギ超長施業群の地位中、その間を美林成長曲線としている。



署	林小班	タイプ	曲線に対する位置	評価
米西	17い	巨木林	地位：上	本数調整の必要はないので間伐しない。
米西	17い	鬱蒼林	地位：中	この本数を維持すれば150年生時には曲線より上位となり、鬱蒼林化が期待できる。
米西	83は	鬱蒼林	線上	この本数を維持すれば150年生時には曲線より上位となり、鬱蒼林化が期待できる。

【別紙3】スギ美林条件から考える現時点での美林適性と誘導施策方針について

		R7調査		R7調査		R7調査						
温故知新のスギ美林条件から考える現時点での美林適性	(参考) 美林特級 仁鮑水沢スギ希少 個体群保護林 米代西部署 4と林小班	(参考) 美林特級 七座山自然観察 教育林 米代西部署 1202い林小班	米代西部署 巨木林 17い林小班(林道脇)	米代西部署 齋蒼林 17い林小班(奥側)	米代西部署 齋蒼林 83は林小班	(参考) 美林特級 上大内沢自然観察 教育林 上小阿仁支署 133.3い林小班	上小阿仁支署 巨木林 138い林小班	(参考) 美林1級 矢立峰風景林 米代東部署 149ね林小班	米代東部署 巨木林 2145ね林小班			
	221年生(R5時点)	226年生(R5時点)	98年生(R7時点)	98年生(R7時点)	74年生(R7時点)	231年生(R5時点)	110年生(R5時点)	231年生(R6時点)	91年生(R5時点)			
小班面積	18.28	19.87	19.64	33.29	3.41	16.45	1.63	1.25	1.99			
①米代川流域	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
⑤純林(スギ材積率95%以上)	○	○	98%○ 805m ³ /ha	98%○ 1063m ³ /ha	100%○ 802m ³ /ha	○	未調査 1054m ³ /ha (おみとおしのみ)	未調査	未調査 1254m ³ /ha (おみとおしのみ)			
⑦林内が暗く林床の植生が貧弱 (6)勢いがあり元気に成長 >現時点では成長を促進する環境か >明るければ良 >下層植生が多ければ良 >樹冠密度は誘導方法検討会にて調査	樹冠疊 密度	未調査	未調査	○ 中(70%)	○ 中(80%)	○ 中(90%)	未調査 中(81%)	未調査 中(87%)	○ 中(88%)	○ 中(80%)	○ 中(80%)	
土壌	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (弱潤性褐色森林土)	○BD (弱潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	○BD (適潤性褐色森林土)	
(参考) 下層植生	シダ類、灌木	シダ類、灌木	灌木、ササ、シダ類	灌木、ササ、シダ類	灌木、ササ、シダ類、バラ 類	シダ類、灌木	灌木、ササ	灌木、ササ類	シダ類、灌木	シダ類、灌木	灌木、シダ類	
②③林齢150年生の時に 胸高直径54cm以上、樹高 33m以上 (4)林下長く樹幹通直 (6)勢いがあり元気に成長 >樹冠形状が60°以下で伸 長成長の見込みがあるか >樹冠長率が30%以上あって 成長性があるか	胸高 直径	96cm○ 地位：上より上位	91cm○ 地位：上より上位	71cm○ 地位：上より上位	52cm△ 地位：上	40cm△ 地位：上と中の中间	85cm○ 地位：上より上位	○ 地位：上と同等	78cm○ 地位：上より上位	54cm○ 地位：上と中の中间 (若干幹大成長)	68cm○ 地位：上より上位	31cm△ 地位：上と中の中间
ha本数	45m○ 地位：上と中の中间	47m○ 地位：上と中の中间	33m○ 地位：上	32m△ 地位：上と中の中间	27m△ 地位：上と中の中间	42cm○ 地位：上と中の中间	○ 地位：上と同等	未調査	33m○ 地位：上と同等	32m△ 地位：上と中の中间	33m○ 地位：上と中の中间	23m△ 地位：上と中の中间
樹冠 形状	丸まっている	丸まっている	○ 尖っている(48°)	○ 尖っている(39°)	○ 尖っている(41°)	丸まっている(78.3°)	尖っている(40.5°)	未調査	未調査	未調査	418本/ha○ 地位：上と中の中间	340本/ha○ 地位：上と中の中间
樹冠 長率	未調査	未調査	43%	41%	33%	未調査	66%	未調査	47%	40%	49%	不明
アクセス良否 ・車から降りて徒歩5分なら○ ・車から降りて徒歩10分なら○	○駐車場から徒歩5分 (道路が近く、林内に 遊歩道が通っている ためアクセス良)	○駐車場から徒歩10分 (道路が近く、林内に 遊歩道が通っている ためアクセス良)	○林道から徒歩0分 (アクセス良)	○林道から徒歩2分 (アクセス良)	○林道から作業道路を徒 歩2分 (アクセス良)	○駐車場から徒歩10分 (道路が近く、林内に 遊歩道が通っている ためアクセス良)	○林道から徒歩2分 (アクセス良)	○駐車場から徒歩0分 (道路が近く、林内に 遊歩道が通っている ためアクセス良)	○駐車場から徒歩3分 (キャンプ場に隣接 するためアクセス良)	○林道から徒歩0分 (アクセス良)	○林道から徒歩0分 (アクセス良)	
誘導方法①	条件	-	-	スギの材積比率が95%を下回った時		-	スギの材積比率が95%を下回った時	-	スギの材積比率が95%を下回った時			
誘導方法②	条件	-	-	広葉樹を伐採		-	広葉樹を伐採	-	広葉樹を伐採			
誘導方法③	条件	-	-	スギの生育の支障になるようなつるが確認された時		-	スギの生育の支障になる ようなつるが確認された 時	-	スギの生育の支障になるようなつるが確認された時			
	内容	-	-	R7つる切実施		-	早期につる切り	-	早期につる切り			

【別紙4】今後のPTスケジュール

区分	特級		誘導林分(巨)	誘導林分(鬱)	誘導林分(鬱)	特級		誘導林分(巨)	1級	誘導林分(巨)	誘導林分(鬱)	誘導林分(巨)	誘導林分(鬱)
林小班	米西署4と い	米西署1202 い	米西署17い 3(林道脇)	米西署17い 4(奥側)	米西署83は1	上小署133号 1	上小署133号 1	上小署138号 1	米東署149ね	米東署2145 ね	米東署2148 い	米東署2243 い	米東署3175 ほ
林齡	221年生(R5 時点)	226年生(R5 時点)	98年生(R7時 点)	98年生(R7時 点)	74年生(R7時 点)	231年生(R5 時点)	231年生(R5 時点)	110年生(R5時 点)	231年生(R6 時点)	90年生(R5時 点)	90年生(R5時 点)	115年生(R6 時点)	56年生(R6時 点)
小班面積	18.28ha	19.87ha	0.55ha	1.18ha	2.77ha	0.77ha	2.64ha	16.45ha	1.63ha	1.25ha	1.99ha	5.82ha	5.73ha
胸高直径	96cm	91cm	71cm	52cm	40cm	85cm	54cm	78cm	52cm	44cm	68cm	31cm	
樹高	45m	47m	33m	32m	27m	42m	34m	45m	33m	32m	33m	23m	
ha本数	190本/ha	134本/ha	244本/ha	467本/ha	495本/ha	184本/ha	-	-	-	417本/ha	340本/ha	1,080本/ha	
過去の施業履歴	S22:保護林指定	H4:間伐88m ³	S48:0.36ha皆伐149m ³	S33:下刈	H3:間伐288m ³ (台風被害木)	H3:間伐782m ³ (立木販売)	H4:間伐20m ³ (被害木)	S51:0.24ha皆伐10m ³ (被害木)	S49:間伐1m ³ (被害木)	S50:間伐4m ³	S43:下刈		
	H3:間伐3518m ³ (被害木)		S49:0.36ha新植3500本/ha	S36:つる切		H4:間伐435m ³ (被害木)		S54:間伐94m ³	S54:間伐136m ³	S55:間伐673m ³	S49:つる切		
	H4:間伐2432m ³ (被害木)		S50:0.36ha全刈	S39:除伐		H5:間伐63m ³ (被害木)		S62:間伐64m ³	S62:間伐227m ³	S56:間伐1338m ³	S51:除伐		
	H5:間伐10m ³ (被害木)		S50:間伐1510m ³	S61:間伐1130m ³		R3:0.01皆伐(作業道支障木)		H2:間伐1m ³ (被害木)	H3:間伐2m ³ (被害木)	H2:間伐694m ³	S59:除伐II類		
			S51:0.37ha全刈	H3:間伐462m ³				H5:間伐12m ³ (被害木)	H12:間伐121m ³	H3:間伐155m ³ (台風被害木)	S59:枝打		
			S61:間伐190m ³	H8:0.17ha皆伐17m ³ (林道支障木)				H12:間伐110m ³		H7:間伐877m ³	H2:間伐		
			H24:0.01ha皆伐(作業道支障木)	H20:0.08ha皆伐(作業道支障木)						H17:間伐	H12:間伐		
			R2:0.02ha皆伐(作業道支障木)	H22:1.74ha皆伐(林道支障木)						H19:0.01ha皆伐(作業道支障木)	H23:0.06ha皆伐(作業道支障木)		
			R6:0.13ha皆伐(作業道支障木)	H29:間伐2244m ³									
R5			誘導林分選定	誘導林分選定			誘導林分選定		誘導林分選定	誘導林分選定			
R6					誘導林分選定						誘導林分選定	誘導林分選定	
R7			小班分割と定期調査、つる切										
R8							小班分割と定期調査、つる切						
R9	第7次国有林野施業実施計画書(米代川森林計画区)に誘導モデル林を掲載												
R10													
R11													
R12													
R13													
R14													
R15									定期調査とつる切				
R16											定期調査とつる切		
R17			小班分割と定期調査、つる切										
R18							小班分割と定期調査、つる切						
R19	第9次国有林野施業実施計画書(米代川森林計画区)												
R20													
R21													
R22													
R23													
R24													
R25									定期調査とつる切				
R26											定期調査とつる切		
R27			小班分割と定期調査、つる切										
R28							小班分割と定期調査、つる切						
R29	第11次国有林野施業実施計画書(米代川森林計画区)												
R30													
R31													
R32													
R33													
R34													
R35									定期調査とつる切				
R36											定期調査とつる切		
R37			小班分割と定期調査、つる切										
R38							小班分割と定期調査、つる切						
R39	第13次国有林野施業実施計画書(米代川森林計画区)												
R40													
R41													
R42													
R43	誘導林分の一部がスギ超長伐期施業群の伐期齢である150年生に到達する。定期調査の結果を分析し、美林プロジェクトを継続するか、スギ超長伐期施業群の伐期齢に従い皆伐するか判断する。美林プロジェクトを継続する場合は、看板や散策用道路の整備を地元自治体と検討する。												

※ 定期調査の結果、スギの材積比率が95%以下となった場合は、間伐施業を検討する。

※ 定期調査の結果、巨木林タイプ誘導林分が収穫予想表に基づくha当たり本数を上回る場合は、間伐施業を実施する。

※ 定期調査の結果、スギの腐朽や枯損等が発見される等、美林誘導を継続することが困難となった場合は、美林誘導を中止し、主伐を検討する。